

NSG グループ

2023年3月期 第3四半期決算報告

(2022年4月1日～ 2022年12月31日)

日本板硝子株式会社
執行役常務 CFO
楠瀬 玲子

2023年2月9日

目次

1. 2023年3月期 第3四半期決算概要
2. 2023年3月期 業績予想について
3. リバイバル計画24 (RP24) に基づく構造改革施策の主な進捗
4. まとめ

1. 2023年3月期 第3四半期決算概要

連結損益計算書

販売価格上昇、販売数量増加、また円安もあり売上高および営業利益は増収増益を継続。
原燃材料費の高騰は続くが、販売価格上昇により吸収

(億円)	10-12月期 (3か月)			累計 (9か月)		
	2022年 3月期	2023年 3月期	差異	2022年 3月期	2023年 3月期	差異
売上高	1,523	1,906	383	4,430	5,662	1,233
営業利益	18	97	79	145	242	96
営業利益率	1.2%	5.1%	+3.9pt	3.3%	4.3%	+1.0pt
個別開示項目 (純額)	△ 2	10	12	44	△ 439	△ 483
個別開示項目後 営業利益 (△損失)	17	107	91	189	△ 198	△ 387
金融費用 (純額)	△ 32	△ 48	△ 16	△ 90	△ 113	△ 23
持分法による投資利益	22	21	△ 1	56	54	△ 2
持分法投資に関する その他の利益 (△損失)	-	△ 4	△ 4	-	△ 11	△ 11
税引前利益 (△損失)	7	77	70	154	△ 268	△ 422
当期利益 (△損失)	10	22	12	105	△ 348	△ 453
純利益 (△損失) *	0	17	16	86	△ 372	△ 458
EBITDA	111	202	91	422	544	121

円安もあり全事業で増収増益 (前年度売却したバッテリーセパレーター事業を除く)。建築用ガラス、自動車用ガラスを中心に高騰した原燃材料コストの価格転嫁が進展

【売上高および営業利益 (事業別) : 前年比】

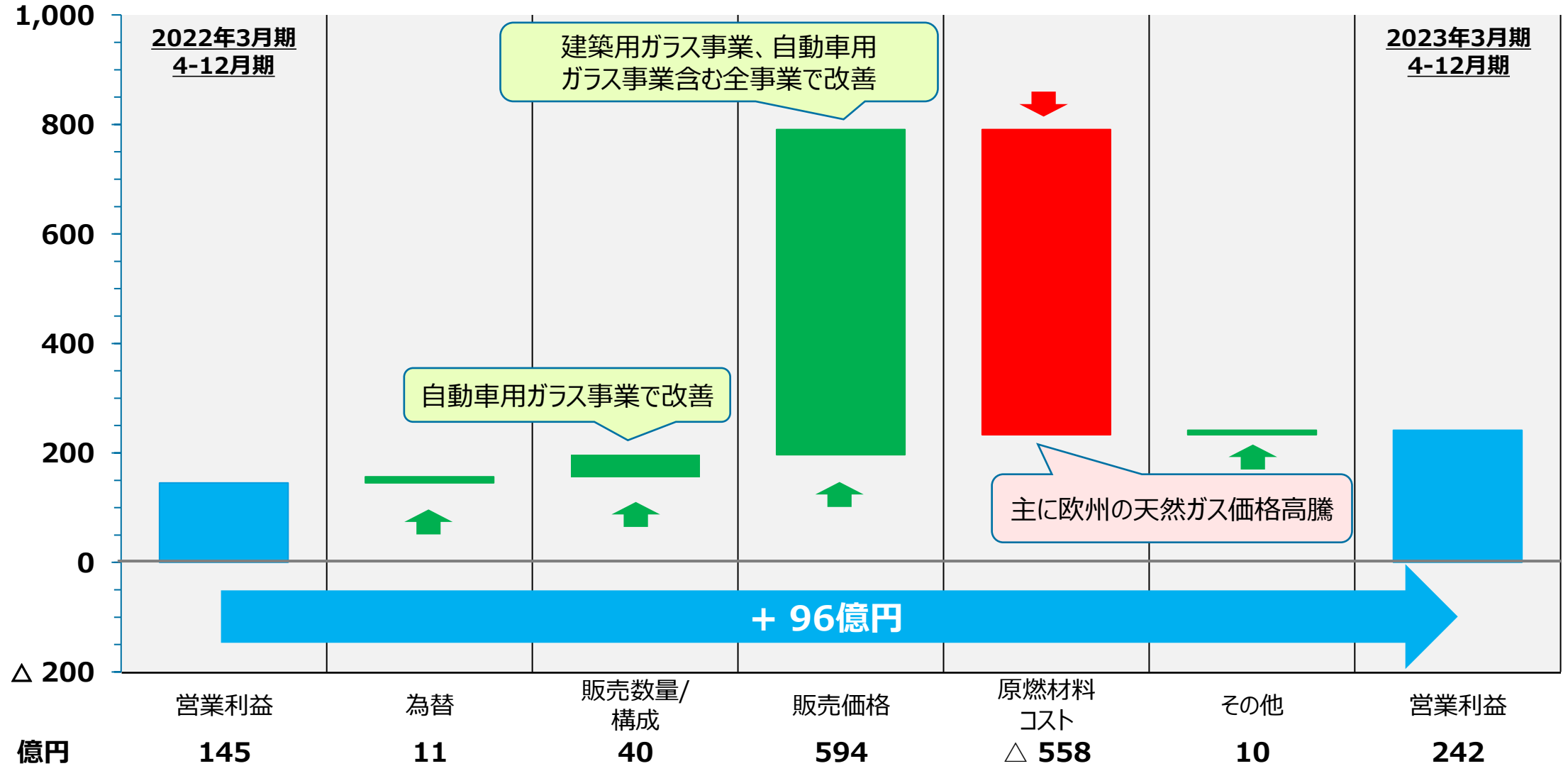
(億円)	売上高	営業利益
建築用	+688	+58
自動車用	+551	+48
高機能	△10	△5
その他	+3	△4
グループ全体	+1,233	+96

第2四半期に欧州の自動車用ガラス事業について、のれんおよび無形資産の減損損失を計上

*親会社の所有者に帰属する当期利益 (△損失)

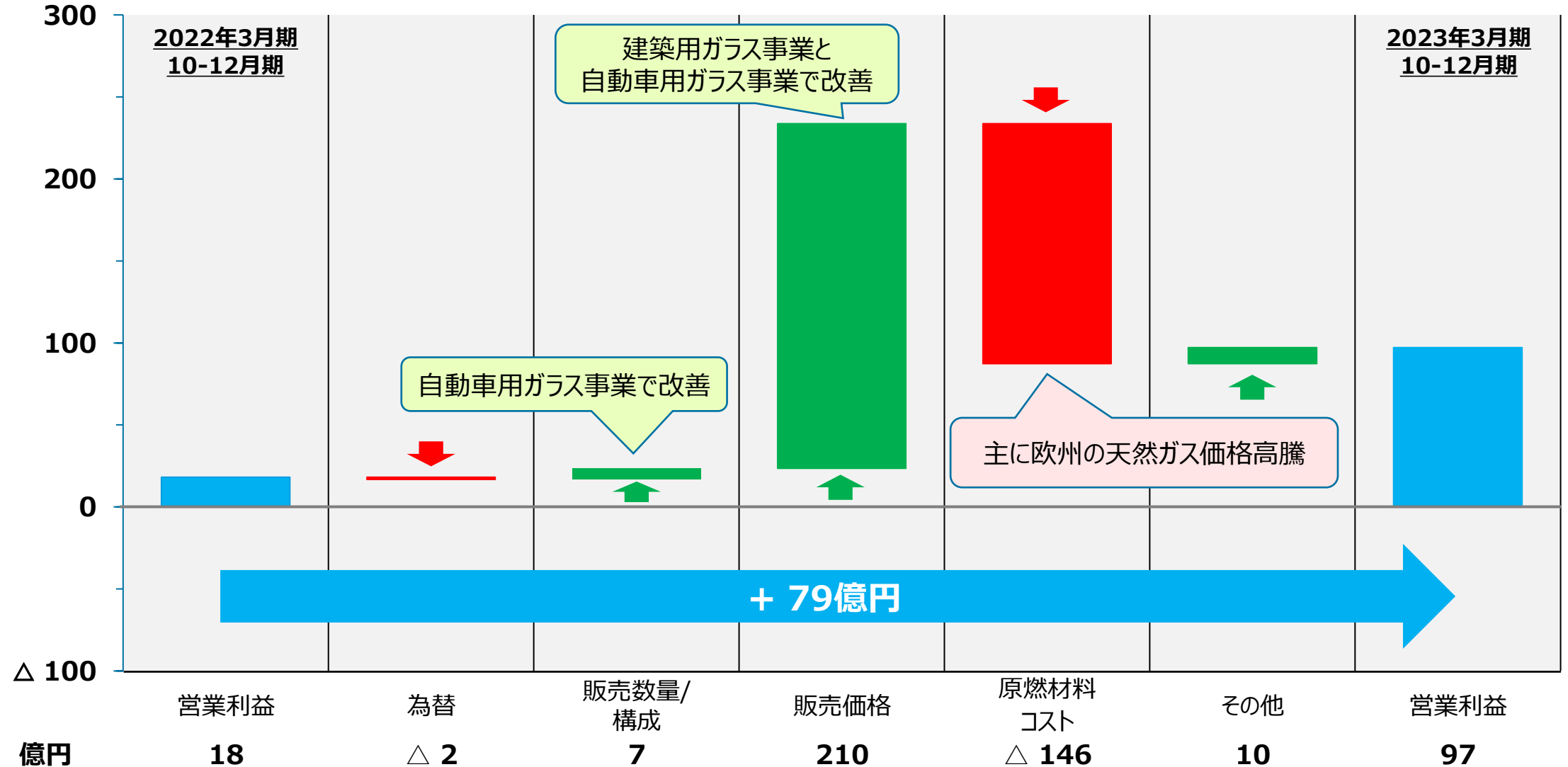
営業利益差異分析 (4-12月期累計)

原燃材料やその他コスト増加の影響を受けたが、販売価格改善および販売数量増加で吸収



営業利益差異分析 (10-12月期)

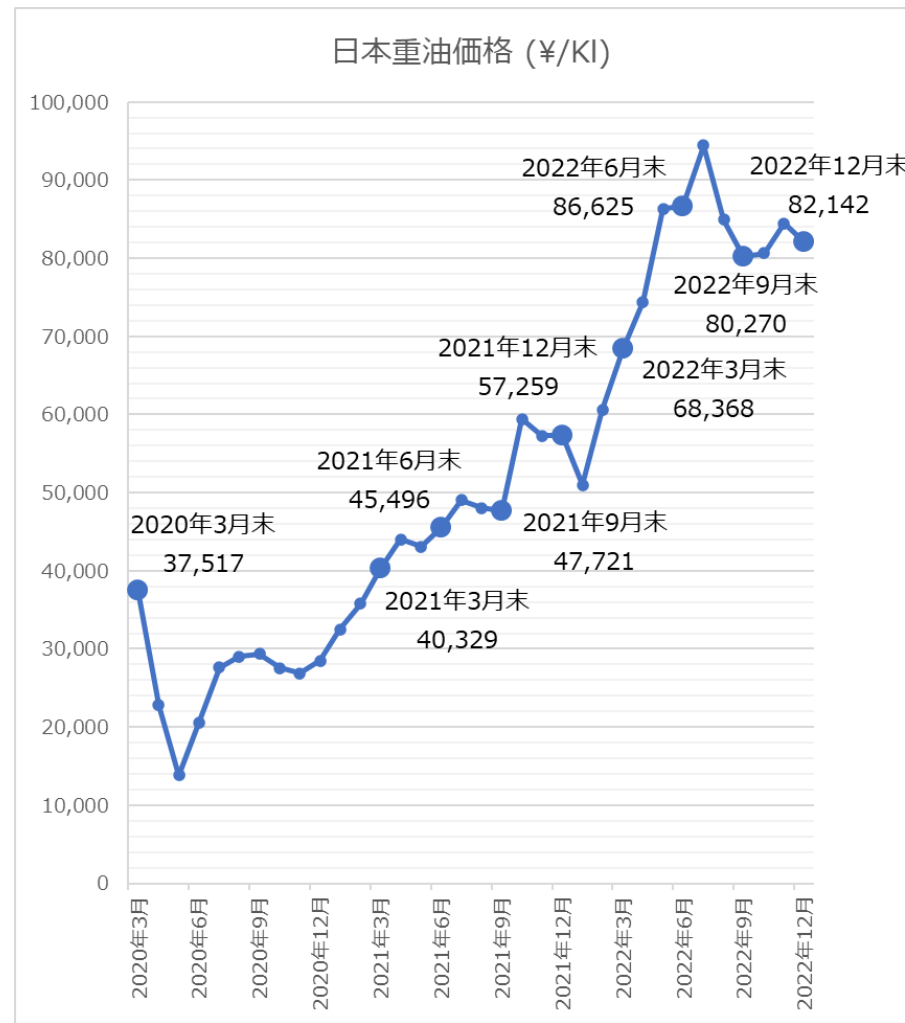
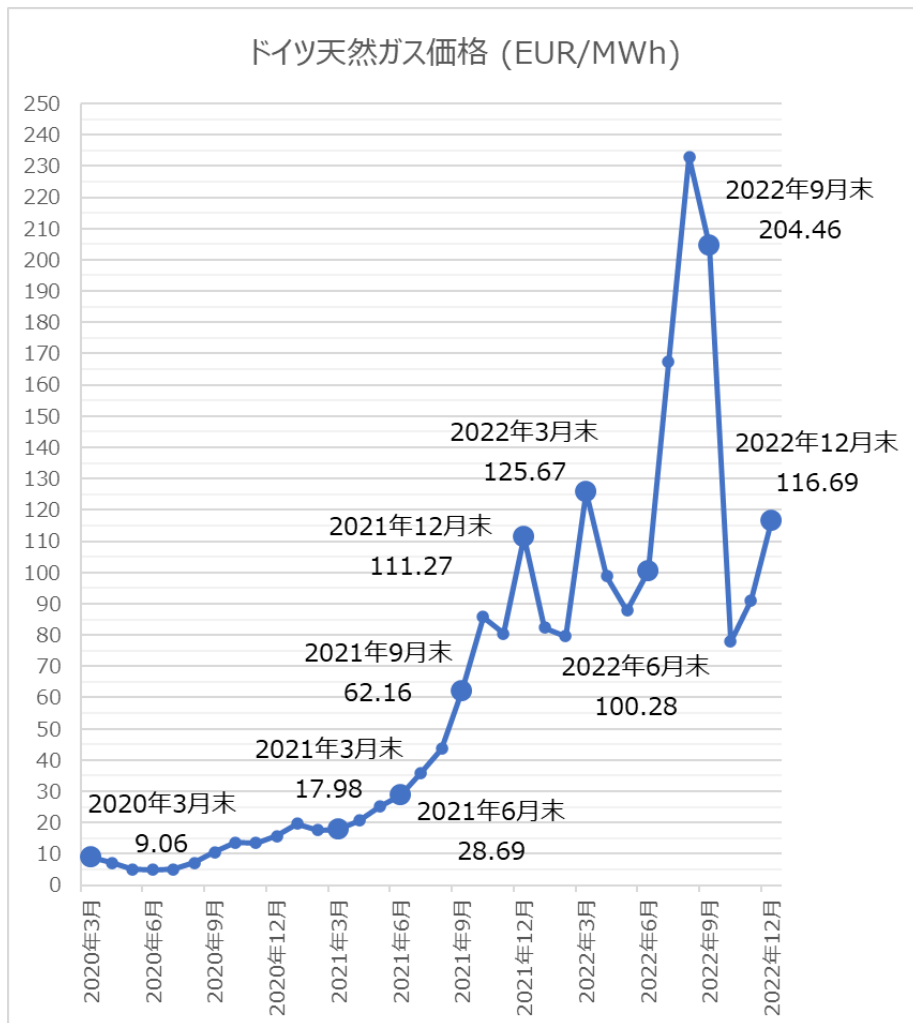
原燃材料等コスト増加影響を受けたが、販売価格改善により前年から大幅改善



エネルギー価格の推移

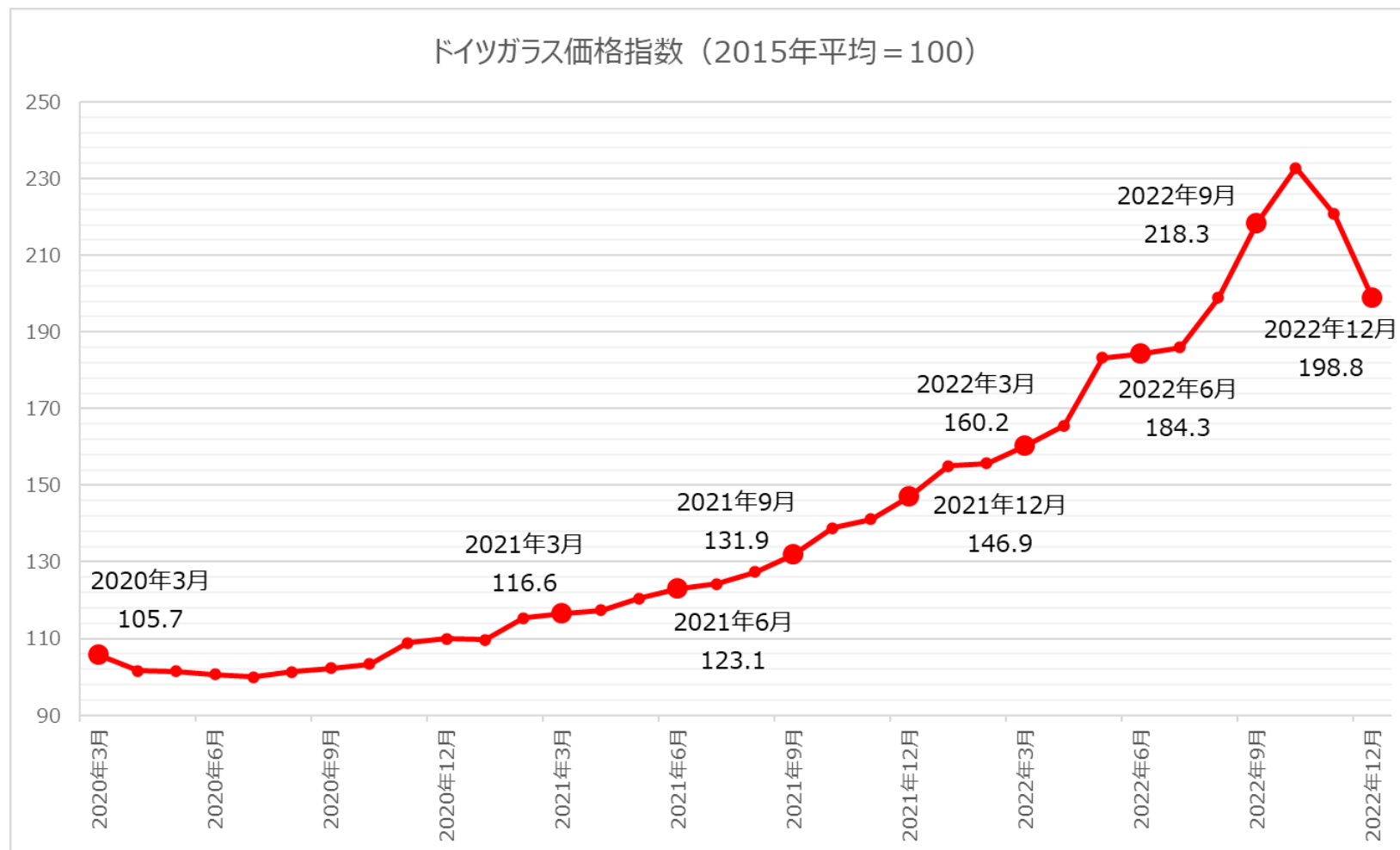
ドイツの天然ガス価格：第3四半期に下落したものの依然高水準。

日本の重油価格：当第3四半期も80,000円/KI超の高価格で推移



ガラス価格の推移

ドイツのガラス価格は、2022年12月は前年同月比1.4倍に上昇。
天然ガスを中心とした原燃材料価格高騰の影響を吸収



連結貸借対照表

第2四半期におけるのれんの減損にも関わらず、RP24の目標数値である自己資本比率10%超を維持

(億円)	2022年 3月末	2022年 12月末	増減	
資産合計	9,393	9,456	64	第2四半期での減損認識によるのれん、無形資産の減少
非流動資産	6,370	6,219	△ 151	棚卸資産、売上債権の増加
流動資産	3,022	3,238	215	借入金が増加、長期借入金から1年以内借入金にシフト
負債合計	7,699	8,068	369	
流動負債	3,067	4,345	1,277	第2四半期の減損損失計上により減少したが、退職給付債務の減少および超インフレ調整で一部相殺。 自己資本比率11%超
非流動負債	4,632	3,724	△ 908	
資本合計	1,694	1,388	△ 305	
親会社の所有者に帰属する持分	1,453	1,096	△ 356	
自己資本比率 (%)	15.5%	11.6%	△ 3.9pt	主にフリー・キャッシュ・フローのマイナス、円安影響
ネット借入	3,652	4,195	543	

連結キャッシュ・フロー計算書

原燃材料費高騰による運転資本増加によりフリー・キャッシュ・フローはマイナスだが、
 運転資本改善により通期では前年度と同様にプラス、RP24の財務数値目標達成を目指す

(億円)	10-12月期 (3か月)			4-12月期累計 (9か月)		
	2022年 3月期	2023年 3月期	差異	2022年 3月期	2023年 3月期	差異
営業活動によるキャッシュ・フロー	67	△ 31	△ 97	211	83	△ 128
(うち、運転資本の増減)	0	△ 172	△ 172	△ 87	△ 326	△ 239
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 42	△ 88	△ 46	△ 201	△ 297	△ 97
(うち、有形固定資産の取得)	△ 57	△ 93	△ 36	△ 260	△ 284	△ 24
フリー・キャッシュ・フロー	24	△ 119	△ 143	11	△ 214	△ 225
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1	113	114	△ 120	128	248
現金および現金同等物の増減	23	△ 6	△ 29	△ 109	△ 86	23
現金および現金同等物 期末残高				446	528	82

コストおよび販売価格上昇に伴い棚卸資産、売上債権増加

前年度はバッテリーセパレーター事業の譲渡収入を計上

円安影響により増加

運転資本の増加を除けば前年度並みで推移。通期でのプラスを目指す

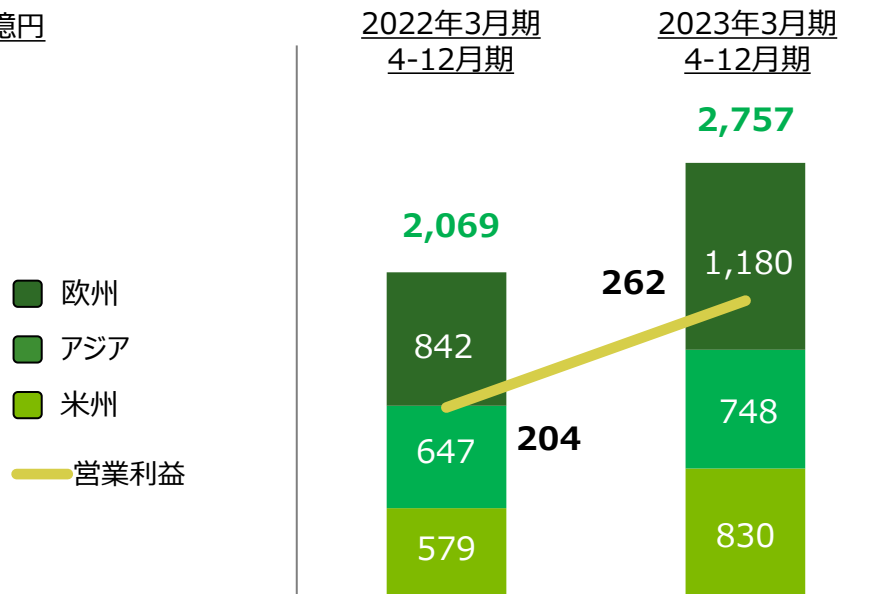
セグメント情報

(億円)	2021年3月期 4-12月期				2022年3月期 4-12月期			2023年3月期 4-12月期			増減	
	売上高	%	営業利益	COVID後 営業利益*	売上高	%	営業利益	売上高	%	営業利益	売上高	営業利益
建築用ガラス事業	1,561	44%	115	58	2,069	47%	204	2,757	49%	262	688	58
欧州	606	17%			842	19%		1,180	21%		337	
アジア	583	16%			647	15%		748	13%		100	
米州	372	10%			579	13%		830	15%		250	
自動車用ガラス事業	1,736	49%	△ 11	△ 94	2,033	46%	△ 59	2,584	46%	△ 11	551	48
欧州	721	20%			864	20%		1,076	19%		212	
アジア	434	12%			444	10%		494	9%		50	
米州	581	16%			725	16%		1,015	18%		290	
高機能ガラス事業	266	7%	45	43	308	7%	78	298	5%	72	△ 10	△ 5
欧州	46	1%			59	1%		68	1%		9	
アジア	212	6%			240	5%		218	4%		△ 22	
米州	8	0%			9	0%		12	0%		3	
その他	11	0%	△ 69	△ 67	20	0%	△ 77	23	0%	△ 82	3	△ 4
合計	3,574	100%	80	△ 60	4,430	100%	145	5,662	100%	242	1,233	96

建築用ガラス事業 (累計：増収・増益 10-12月期：増収・増益)

全地域で堅調な需要が継続、販売価格改善および為替影響もあり大幅増収。
エネルギーを中心に原燃材料価格高騰の影響を受けるが、価格改善により増益

億円



欧州 (累計：増収・増益 10-12月期：増収・増益)

- 当第3四半期はインフレ進行と金利上昇に伴い需要がやや減少
- 天然ガスを中心に高止まりした原燃材料費を販売価格転嫁で吸収

アジア (累計：増収・増益 10-12月期：増収・減益)

- 日本では販売価格改善がさらに進展
- その他アジアでは競合激化により販売数量減少・販売価格低下
- 太陽電池パネル用ガラスの需要は堅調

米州 (累計：増収・増益 10-12月期：増収・増益)

- 北米は、輸送コンテナ不足による出荷の制約が解消、強い需要を背景に販売価格が上昇
- 太陽電池パネル用ガラスの需要は堅調
- 南米は強い需要が継続

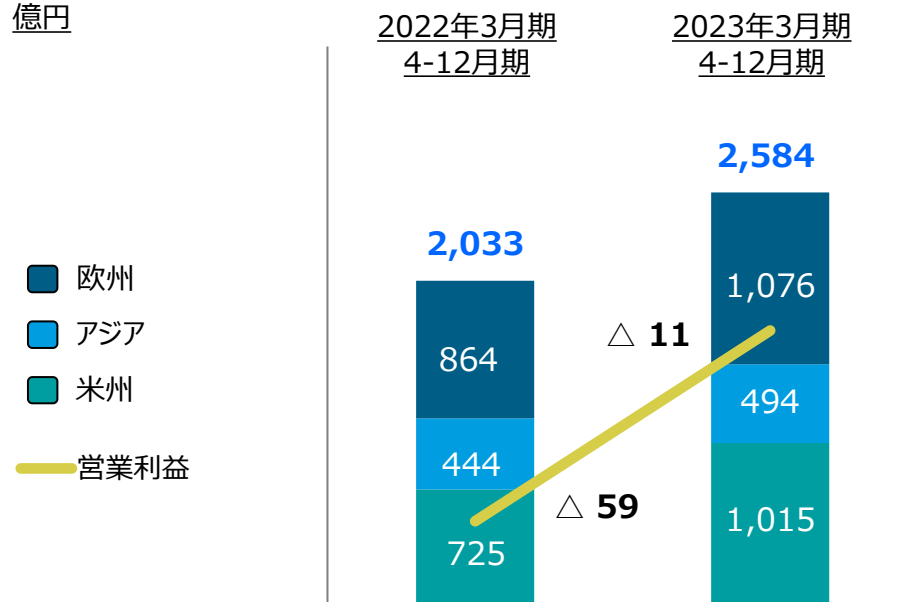
(億円)	10-12月期 (3か月)			累計 (9か月)		
	2022年3月期	2023年3月期	差異	2022年3月期	2023年3月期	差異
売上高	748	936	187	2,069	2,757	688
欧州	293	391	98	842	1,180	337
アジア	245	258	13	647	748	100
米州	210	287	76	579	830	250
営業利益	68	107	39	204	262	58

自動車用ガラス事業

(累計：増収・増益 10-12月期：増収・増益)

自動車メーカー向け販売価格改善が進捗し、第3四半期は前年度第1四半期以来の営業黒字に転換。
部品不足による自動車生産制約の影響が続くが、徐々に解消

億円



欧州 (累計：増収・増益 10-12月期：増収・増益)
 アジア (累計：増収・減益 10-12月期：増収・増益)
 米州 (累計：増収・減益 10-12月期：増収・減益)

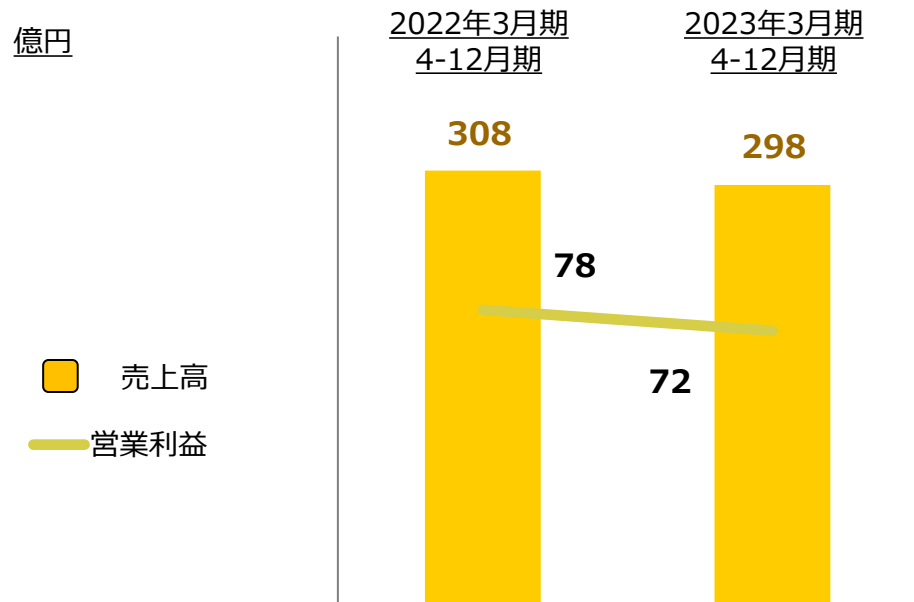
- 当第3四半期においても全地域で多くの自動車メーカーとの価格改善交渉がさらに進捗し、高騰した原燃材料費を相殺
- 半導体等自動車部品不足による自動車生産の制約の影響が続いているが、欧州では徐々に解消
- 日本では舞鶴の窯の定期修繕後、生産効率が改善
- 米州では需要は堅調だが、原燃材料費や運送費等その他費用の上昇により減益

(億円)	10-12月期 (3か月)			累計 (9か月)		
	2022年 3月期	2023年 3月期	差異	2022年 3月期	2023年 3月期	差異
売上高	681	866	185	2,033	2,584	551
欧州	273	377	104	864	1,076	212
アジア	164	170	6	444	494	50
米州	244	319	75	725	1,015	290
営業利益	△ 49	6	54	△ 59	△ 11	48

高機能ガラス事業

(累計：増収・増益 10-12月期：増収・減益)

第3四半期は中国でのロックダウンの影響により販売数量が減、コスト上昇もあり利益率低下。
累計では増収増益を継続 (前年度9月に売却したバッテリーセパレーター事業を除く)



- ファインガラスは、当第3四半期は景気減速の影響を一部受けたが、継続的なコスト削減等により累計では業績は安定
- プリンター用レンズは、第3四半期に半導体等部品不足の影響から徐々に回復したが、需要は北米や欧州でわずかに減少
- グラスコードはアフターマーケット用を中心に需要が堅調であったが、取引先のサプライチェーンの問題を受けて販売数量減少
- メタシャイン® は自動車塗料および化粧品向けで需要がわずかに減少

(億円)	10-12月期 (3か月)			累計 (9か月)		
	2022年 3月期	2023年 3月期	差異	2022年 3月期	2023年 3月期	差異
売上高	91	96	5	308	298	△ 10
営業利益	21	15	△ 5	78	72	△ 5

2. 2023年3月期 業績予想について

2023年3月期通期業績予想の前提

グループ	第3四半期累計実績を踏まえ通期売上高・営業利益・税引前損失・当期損失・純損失予想を上方修正 <ul style="list-style-type: none">● 円安の影響が継続● エネルギー価格高騰、世界的なインフレ拡大等で投入コスト増加が継続● 金利上昇による潜在的な景気後退などのリスクにより第4四半期の事業環境は依然不透明● 引き続き全社的なコスト削減、高付加価値製品拡大、価格改善に努め、収益性改善に注力
建築用ガラス	良好な需給環境継続を期待、一方で欧米を中心にエネルギー価格変動の影響と景気後退懸念 <ul style="list-style-type: none">● 欧州：エネルギー価格の変動、原材料費高騰は続くが、価格転嫁も継続。販売数量はやや減少の見込み● アジア：日本の数量および価格が回復するが、その他アジア地域での競合状況を注視● 北米：市場は好調継続ながら利上げによる景気後退懸念● 南米：タイトな需給環境が継続、アルゼンチンの新フロート窯の稼働が貢献● 太陽電池パネル用ガラス：堅調な需要が続き、マレーシアで生産設備建設開始、米国でも拡大検討中
自動車用ガラス	自動車需要は堅調だが、半導体等部品不足と原燃材料費高騰の影響が続く見込み、価格改善交渉継続 <ul style="list-style-type: none">● 全地域で強い自動車需要と在庫逼迫感は継続● 自動車メーカーとの価格改善交渉がさらに進展、徐々に効果が発現● 半導体等部品不足は続くが、徐々に解消していく見込み● 日本では舞鶴の窯の定期修繕が完了し、収益性の改善に貢献● 原燃材料費高騰をコスト削減、高付加価値製品拡大、価格改善により軽減、通期黒字転換を目指す
高機能ガラス	コスト上昇および需要減少の影響を受け利益率低下 <ul style="list-style-type: none">● ファインガラスは、コスト削減を継続するが、景気減速の影響も懸念● プリンター用レンズは、部品不足による影響や景気動向を注視● ガラスコードは、アフターマーケット用を中心に安定した需要の一方で取引先のサプライチェーンの状況を注視

2023年3月期通期業績予想

想定を上回る第3四半期累計実績を踏まえ、通期売上高・営業利益予想を上方修正。
税引前損失・当期損失・純損失についても改善

(億円)	2023年3月期 第3四半期 累計実績	2023年3月期 通期予想 (前回予想)	2023年3月期 通期予想 (今回予想)	増減	2022年3月期 通期実績
売上高	5,662	7,400	7,500	100	6,006
営業利益	242	180	280	100	200
個別開示項目 (純額)	△ 439	△ 450	△ 440	10	36
個別開示項目後営業利益 (△損失)	△ 198	△ 270	△ 160	110	236
金融費用 (純額)	△ 113	△ 130	△ 150	△ 20	△ 125
持分法適用会社に対する 金融債権の減損損失	-	-	-	-	△ 34
持分法による投資損益	54	50	60	10	75
持分法投資に関する その他の利益 (△損失)	△11				△ 34
税引前利益 (△損失)	△ 268	△ 350	△ 250	100	119
当期利益 (△損失)	△ 348	△ 380	△ 340	40	68
純利益 (△損失) *	△ 372	△ 410	△ 370	40	41

3. リバイバル計画24 (RP24) に基づく構造改革施策の主な進捗

リバイバル計画24(RP24)に基づく構造改革施策の主な進捗

持続的な成長が可能な事業体質を目指してRP24の主要施策を引き続き推進。
財務目標数値では、多額の減損損失計上後も、目標を上回る自己資本比率を維持

3つの改革

● 事業構造改革

- マレーシアの既存フロート窯における太陽電池パネル用ガラスのオンラインコーティング設備新設について、建設を開始
(2024年3月期第3四半期より生産開始予定)
- 米国でも太陽電池パネル用ガラスの拡大に向けて検討中
- アルゼンチン2基目の新フロート窯で生産開始



マレーシアのフロート窯

● 企業風土改革

- 従業員の声を踏まえ、企業風土改革をトップから推進すべく「リーダーシップ行動憲章」を策定

2つの重点施策

● 財務基盤の回復 (2023年3月期 4-12月期実績)

- 第3四半期に円安緩和、燃料価格低下に伴うデリバティブ評価益減少後もRP24の財務目標数値である自己資本比率10%超を維持
- 2022年12月末現預金残高586億円、未使用融資枠263億円

4. まとめ

まとめ

1. 2023年3月期 第3四半期決算

- 販売価格上昇、販売数量増加、また円安もあり売上高および営業利益は増収増益を継続
- 原燃材料やその他コスト増加の影響を販売価格改善および販売数量増加で吸収
- 建築用ガラス事業の好調が継続、自動車用ガラス事業でも価格転嫁が進捗
- 高機能ガラスでは中国でのロックダウンの影響を受け販売数量が減少、コスト上昇の影響を受け利益率低下
- 自己資本比率はRP24の財務目標数値である10%超を維持

2. 2023年3月期 通期業績予想

- 想定を上回る第3四半期累計実績を踏まえ、通期売上高・営業利益予想を上方修正
- エネルギー価格高騰、世界的なインフレ拡大等で投入コスト増加の影響が継続
- 引き続き全社的なコスト削減、高付加価値製品拡大、価格転嫁に努め、収益性改善に注力

3. リバイバル計画24 (RP24) に基づく構造改革施策の主な進捗

- 事業構造改革：マレーシアの既存フロート窯に太陽電池パネル用ガラスのオンラインコーティング設備建設を開始
(2024年3月期第3四半期より生産開始予定)
米国でも太陽電池パネル用ガラスの拡大に向けて検討中
- 財務基盤の回復：自己資本比率はRP24の財務目標数値である10%超を維持

ご注意

当資料の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。その要因の主なものとしては、主要市場の経済環境および競争環境、製品需給、為替・金利相場、原燃料市場環境、法規制の変動等がありますが、これらに限定されるものではありません。

日本板硝子株式会社

補足資料

- 連結損益計算書 四半期別推移
- 事業部門別・地域別業績 四半期別推移
- セグメント情報
- 地域別売上高および営業利益
- 個別開示項目
- 為替レート・為替感応度
- 減価償却費・資本的支出・研究開発費
- エネルギーコスト内訳

連結損益計算書

四半期別推移

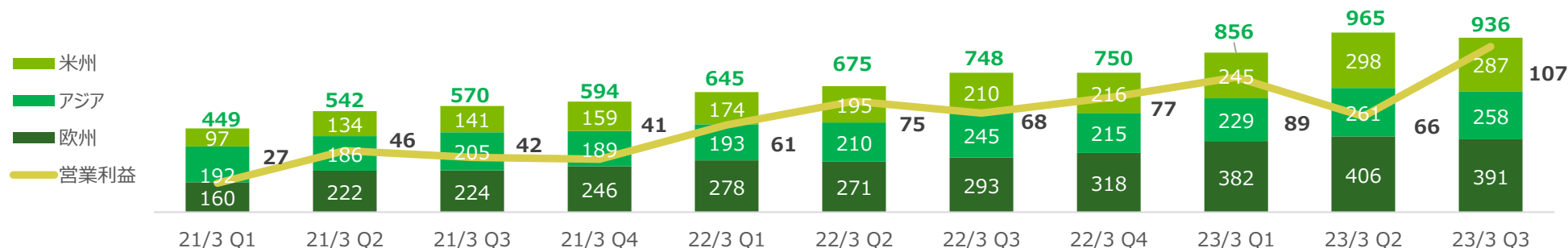
(億円)	2021年 3月期				2022年 3月期				2023年 3月期		
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期
売上高	919	1,297	1,358	1,419	1,477	1,430	1,523	1,576	1,779	1,977	1,906
営業利益 (△損失)	△ 6	38	48	50	72	55	18	55	83	62	97
営業利益率	-	2.9%	3.5%	3.6%	4.8%	3.9%	1.2%	3.5%	4.6%	3.1%	5.1%
個別開示項目 (COVID-19関連)	△ 115	△ 13	△ 12	△ 21	-	-	-	-	-	-	-
COVID-19関連個別開示項目後 営業利益 (△損失)	△ 121	25	36	30	72	55	18	55	83	62	97
個別開示項目 (その他)	△ 1	△ 8	10	△ 61	△ 2	47	△ 2	△ 7	23	△ 473	10
個別開示項目後営業利益 (△損失)	△ 122	17	46	△ 31	70	102	17	48	106	△ 411	107
金融費用 (純額)	△ 24	△ 30	△ 21	△ 35	△ 29	△ 29	△ 32	△ 34	△ 28	△ 37	△ 48
持分法適用会社に対する 金融債権の減損損失	-	-	-	-	-	-	-	△ 34	-	-	-
持分法による投資利益	△ 4	2	10	13	15	19	22	19	22	10	21
持分法投資に関する その他の利益 (△損失)	-	-	-	6	-	-	-	△ 34	△ 12	5	△ 4
税引前利益 (△損失)	△ 149	△ 11	35	△ 47	55	92	7	△ 36	88	△ 434	77
当期利益 (△損失)	△ 165	△ 7	37	△ 28	29	67	10	△ 38	33	△ 403	22
純利益 (△損失)*	△ 164	△ 9	34	△ 30	25	61	0	△ 45	24	△ 412	17
EBITDA	61	127	135	145	165	146	111	144	180	161	202

*親会社の所有者に帰属する当期利益 (△損失)

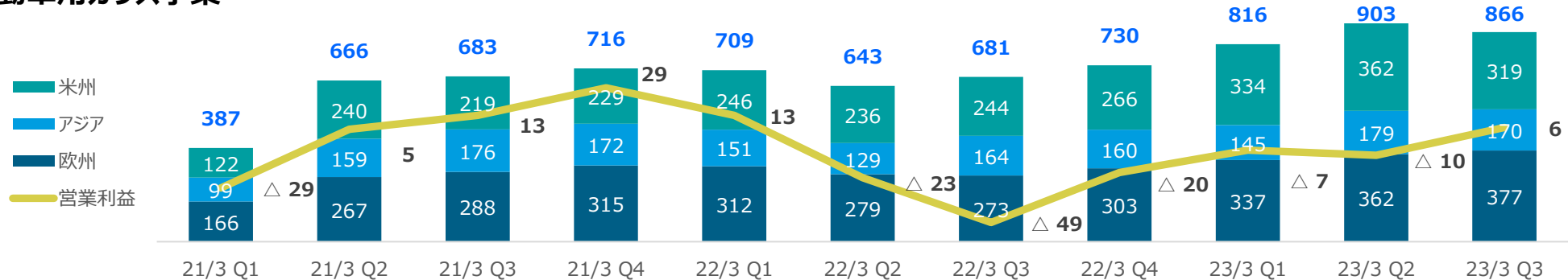
事業部門別・地域別売上高および営業利益 四半期別推移

単位：億円

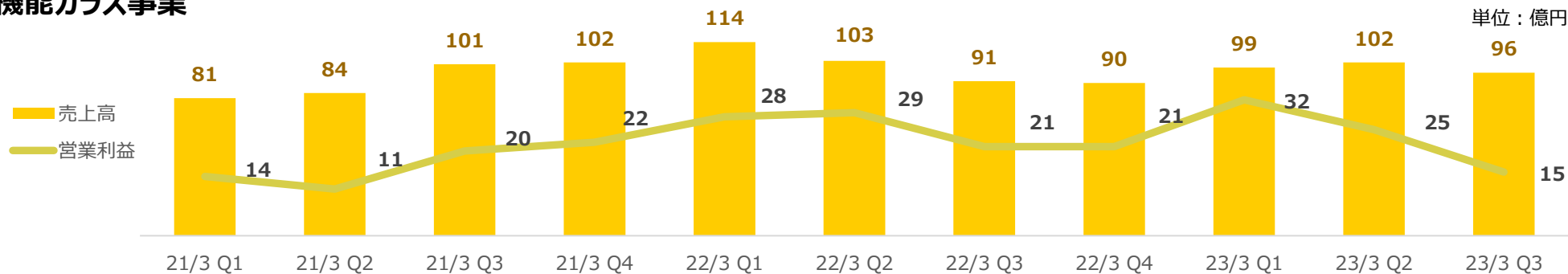
建築用ガラス事業



自動車用ガラス事業



高機能ガラス事業



セグメント情報

(億円)	2021年3月期					2022年3月期					2023年3月期			
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	累計	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	累計	4-6月期	7-9月期	10-12月期	累計
売上高: 建築用ガラス	449	542	570	594	2,155	645	675	748	750	2,818	856	965	936	2,757
欧州	160	222	224	245	852	278	271	293	318	1,160	382	406	391	1,180
アジア	192	186	205	189	772	193	210	245	215	862	229	261	258	748
米州	97	134	141	160	531	174	194	210	216	795	245	298	287	830
営業利益	27	46	43	41	157	61	75	68	77	281	89	66	107	262
COVID後営業利益*	△ 22	41	38	34	91	-	-	-	-	-	-	-	-	-
売上高:自動車用ガラス	387	667	682	716	2,452	709	643	681	730	2,762	816	903	866	2,584
欧州	166	267	288	315	1,036	312	279	273	303	1,167	337	362	377	1,076
アジア	99	159	176	173	606	151	129	164	160	604	145	179	170	494
米州	122	241	219	229	810	246	236	244	266	992	334	362	319	1,015
営業利益	△ 29	5	13	29	18	13	△ 23	△ 49	△ 20	△ 79	△ 7	△ 10	6	△ 11
COVID後営業利益*	△ 93	△ 6	4	17	△ 78	-	-	-	-	-	-	-	-	-
売上高:高機能ガラス	81	84	101	102	368	114	103	91	90	398	99	102	96	298
欧州	13	14	18	19	64	21	18	20	20	79	21	25	22	68
アジア	65	67	80	81	293	90	82	68	66	306	75	73	70	218
米州	3	3	3	3	11	3	3	3	4	13	4	5	4	12
営業利益	14	11	20	22	67	28	29	21	21	99	32	25	15	72
COVID後営業利益*	12	10	21	22	65	-	-	-	-	-	-	-	-	-
売上高:その他	2	4	5	6	17	9	8	3	7	27	8	7	9	23
営業利益	△ 18	△ 23	△ 28	△ 42	△ 111	△ 31	△ 25	△ 22	△ 24	△ 101	△ 31	△ 19	△ 31	△ 82
COVID後営業利益*	△ 18	△ 20	△ 27	△ 43	△ 108	-	-	-	-	-	-	-	-	-
売上高:合計	919	1,297	1,358	1,419	4,992	1,477	1,430	1,523	1,576	6,006	1,779	1,977	1,906	5,662
営業利益	△ 6	38	48	50	131	72	55	18	55	200	83	62	97	242
COVID後営業利益*	△ 121	25	36	30	△ 30	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*COVID-19関連個別開示項目後営業利益

地域別売上高および営業利益

(億円)	2022年3月期 4-12月期			2023年3月期 4-12月期			増減	
	売上高	%	営業利益 (△損失)	売上高	%	営業利益 (△損失)	売上高	営業利益 (△損失)
欧州	1,765	40%	△ 15	2,324	41%	62	559	77
アジア	1,331	30%	157	1,459	26%	161	128	4
米州	1,314	30%	80	1,856	33%	100	543	20
その他 *	20	0%	△ 77	23	0%	△ 82	3	△ 4
合計	4,430	100%	145	5,662	100%	242	1,233	96

* 「その他」セグメントの売上高、営業利益は地域別に区分していない。

個別開示項目

(億円)	2022年3月期 4-12月期	2023年3月期 4-12月期
リストラチャリング費用	△ 1	△ 2
のれんおよび無形資産の減損損失	-	△ 488
係争案件の解決に係る収益 (△費用) 純額	△ 3	27
子会社売却・事業譲渡による利益	44	15
固定資産売却による利益	-	6
その他	4	2
個別開示項目 純額	44	△ 439

為替レート・為替感応度

期中平均レート

	2021年 3月期				2022年 3月期				2023年 3月期		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
英ポンド	133	135	136	139	153	152	153	153	163	163	164
ユーロ	118	121	123	124	132	131	131	130	138	139	140
米ドル	107	106	106	106	109	109	112	112	129	134	137
ブラジル・リアル	19.9	19.8	19.7	19.7	20.6	20.8	20.7	21.0	26.4	26.4	26.5
アルゼンチン・ペソ	超インフレ会計の適用により、期末レートのみ使用										

期末レート

	2021年 3月期				2022年 3月期				2023年 3月期		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
英ポンド	132	135	141	152	153	150	156	160	165	161	160
ユーロ	121	124	127	130	132	129	131	136	142	141	140
米ドル	107	105	103	111	111	112	116	122	136	145	132
ブラジル・リアル	19.9	18.7	19.8	19.1	22.3	20.6	20.4	25.5	26.2	26.7	25.7
アルゼンチン・ペソ	1.53	1.38	1.22	1.20	1.16	1.13	1.12	1.10	1.09	0.98	0.76

為替感応度

他の前提に変動がない条件で、為替レートが他の通貨に対して1%円安になった場合の影響額

	2022年 3月期
資本	40.0億円の増加
当期利益	1.0億円の改善

減価償却費・資本的支出・研究開発費

(億円)	2022年3月期 4-12月期	2023年3月期 4-12月期	2023年3月期 見通し
減価償却費	277	302	390
資本的支出	153	263	400
通常投資	134	226	
戦略投資、他	19	37	
研究開発費	61	68	95
建築用ガラス事業	18	21	
自動車用ガラス事業	18	20	
高機能ガラス事業	7	7	
その他	18	20	

エネルギーコスト内訳 (2022年3月期→2023年3月期)

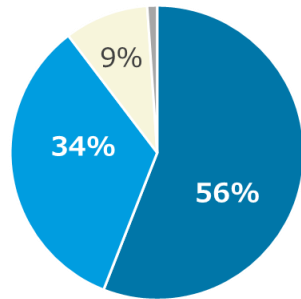
エネルギーコストは前年同期比グループ全体で+78%*、天然ガスは+104%。

天然ガス価格は第3四半期に低下したが依然高値圏。

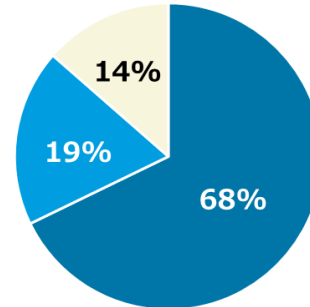
地域別では欧州および米州、事業別では建築用ガラス事業に大きなコスト上昇圧力

2022年3月期 (4-12月期)

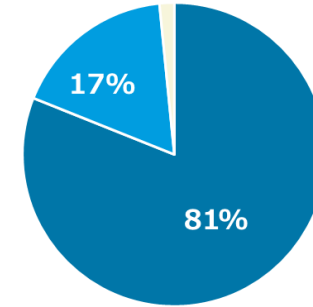
グループ全体 (エネルギー別)



天然ガスグループ全体 (地域別)



天然ガスグループ全体 (事業別)

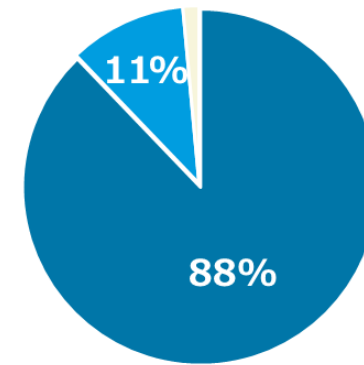
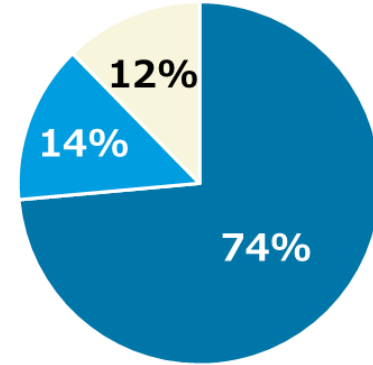
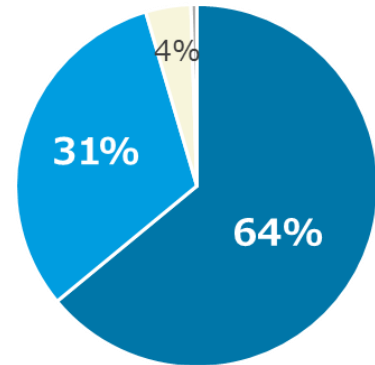


コスト増

+78%、天然ガス+104%

欧州+121%、米州+85%

建築用+121%



■天然ガス ■電気 ■重油 ■その他

■欧州 ■アジア ■米州

■建築用 ■自動車用 ■高機能

2023年3月期 (4-12月期)

エネルギーコスト内訳 (地域別)

天然ガス価格の高騰は欧州、米州を中心に全世界的にエネルギーコストに大きな影響を与える

